



Lend a Hand

●ROTARY CLUB OF SUZAKA GOGAKU

WEEKLY NEWS



国際ロータリー第2600地区
須坂五岳ロータリークラブ

No. 190 2003.7.2

例会：毎週水曜日
12:30～13:30

於：須坂迎賓館
TEL (026) 246-3333

会長：橋本達男 幹事：竹内浩視 会報・雑誌委員長：三上裕通

2003～2004年度国際ロータリーのテーマ **手を貸そう**

第377回 例会報告 2003.6.18

司会：中山SAA 点鐘：小山昭夫 会長 我等の生業 斉唱

■本日のゲスト

長野経済研究所専務理事：青木三郎様

■本日のビジター：須坂ロータリークラブ 北沢邦夫様

■会長あいさつ：小山昭夫君

過日は今年度の最終夜間例会が楽しく過ごせました。全ての計画の締めくくりとして、本日は大変ビッグなゲストをお迎えしての例会で大変うれしく思います。青木様は、この度長野経済研究所をご退任されるそうでした、五岳ロータリーでのお話が記念すべき最後という事で、今日は格別の感じが致します。どうぞ宜しくお願い致します。

■幹事報告：南澤貞雄君

○退会のお知らせ：6月30日をもって3名の方より退会の申し出があり、理事会にて受理致しました。

上野正治さん、中村一也さん、土屋光春さん

○事務局にコピー機が入りました。須坂RCの割田さんから譲って頂きました。

○新しい事務局員さんのご紹介

竹前 薫さん（須坂市北横町）

「何もわかりませんので、皆様のご指導を宜しくお願い致します。」



■出席・ニコニコBOX委員会報告：梅崎謙勝君

出席率 83%

ニコニコBOXは、目標の100万円に達成いたしました。一年間のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

ゲスト卓話

知っていても損しないはなし デフレ状況の経済を考える

長野経済研究所専務理事 青木三郎様

皆様こんにちは。私にとりましては退任前の最後のお話をさせて頂く機会でございます。本題に入ります前に少しおもしろい話を話させて頂きます。

3の倍数は総ての数字の基本？：27、54、270～

人間のリズムもそうです。

18（呼吸）、36（体温）、72（脈拍）、144（血圧）

景気の足枷3兄弟は、過剰3兄弟、不安3兄弟、下落3兄弟。

日本の動きも60年周期説で見ますと、明治維新から60年で世界大恐慌、そして60年でバブル崩壊。

2003年には何が起きるか

| ショック名 | 年度 | 原因 | 対応、結果 |
|------------|------|----------------|-----------|
| 第一次オイルショック | 1973 | 原油価格高騰 | 省エネ、軽薄短小化 |
| 第二次オイルショック | 1979 | 原油価格高騰 | 省エネ、ハイテク化 |
| 円高ショック | 1985 | 円高 | 国際化(海外進出) |
| 第一次バブルショック | 1991 | バブル崩壊 | リストラ |
| 第二次バブルショック | 1997 | 消費税、金融危機 | オプチノミクス |
| ? | 2003 | 国際化、国債、時価会計... | 企業競争力の復活? |

1.デフレとは

現在の我が国経済はデフレの状況にある。デフレとは継続的に物価が下落する現象のことであり、日本は先進国の中で（戦時中を除き）初めて物価が下落するという現象に陥っている。

物価が下がる理由としては、①流通機構の簡素化、②海外から安く良い製品や原料の輸入、③技術発達（例えばIT（情報技術））等による低コストの実現、または好景気時に多くの製品を作ったが、景気が悪化し売れなくなったので値段を下げざるを得なくなったなど一般的には供給過剰、重要不足により物価水準は下がる。

デフレの原因については、様々な議論が行われている。中国から安価な輸入品が流入することにより国内の競合品の価格が下落し、企業収益が圧迫され、賃金や地価等の下落が主因であるという考えの一方で、中国製品とは競合しない財やサービスの価格も下落していることから、貨幣供給量増加率の低下がデフレの主因であるという金融面を重視した考え方もある。

しかしデフレの原因は、デフレギャップ、つまり総供給と総需要の差にあり、需要不足によるところが大きいと考えられる。特に消費者の将来に対する漠然とした不安が財布の紐を固くしているということにある。



2.デフレがもたらすもの

物の値段が下がることは、良い物が安く手に入れられるという良い面もある一方、モノや資産に大きな影響を

及ぼす。経済停滞の原因の一つであるデフレ状況によって資産価格（株、土地）の低迷が新たな不良債権を生み、更には経済停滞により企業業績の悪化が不良債権の増加を加速させている。

我が国は90年代以降21世紀に入ってもデフレ状況から脱却することができず、モノや資産の価格は継続的に下落を続けるといった悪循環（デフレスパイラル）に入りつつある。こうした事態は何としても避けなければならない。

3.デフレを解消するためには何が必要か

デフレを解消するためには、需要を生み出すことであり、特に消費者の不安を解消することが何よりも必要と言える。更には、不安解消に寄与する様な新たな産業分野を創出することである。供給側の強化のために、不良債権処理は必要であると思われるが、それ以上に需要を創出することが求められている。どこにニーズがあるのかを的確に把握し、それに向かって新規事業展開を考えることが重要である。こうした産業創出の分野としては、産業構造審議会

「イノベーションと需要の好循環」によると

- ①健康への不安解消に対する需要
- ②自由時間に対する需要
- ③豊かで居心地の良い空間消費に対する需要
- ④人ととのつながり（コミュニケーション・参画）
- ⑤自己啓発、再教育に対する需要

などが挙げられる。

デフレ脱却のためには、現在立ち込める不安を解消すると同時に、これから高齢化社会を迎える中で生まれる新たな需要分野への産業創出をどのように行うかが課題である。こうした産業を創出し企業の収益性の向上を図るため、経済の足腰を強める政策が求められていると言える。

経営者として、問題解決の優先順位を決めて下さい。

- ①やるべきこと、できること、すぐやった方が得になること
 - ②問題は3つ以上やらない
- 皆様の益々のご活躍をお祈りします。

第378回 例会報告 2003.6.25

司会：中山SAA 点鐘：小山昭夫 会長 それでこそロータリー 斉唱

■小山会長退任のあいさつ



緊張の連続であった一年間が過ぎ、いよいよ最終例会を迎え、役員をはじめ会員の皆様方の御支援と御指導に心より感謝を申し上げます。南澤幹事には、クラブ運営での細やかな配慮、そして実践・行動は見事であり、私の力不足を補い支えて下さった事に、心からの敬意と感謝を表すものであります。

そして、塚田事務局員には、持前の豊かな感性と優れた判断力により、須坂五岳ロータリークラブ創立以来、7年の歴史の確立に大きな力となって下さいました事にお礼を申し上げます。

ロータリークラブの会員は、いずれも異業種の事業家、専門職人であり、お互いの交流の中から享受する知識や経験は貴重なものであります。

そして、その会員同士の親睦と友愛の中から自然発生的に奉仕の心を理解し、小さな奉仕でも実践できる事がロータリーへ入会して得た最も大きな価値であります。

また、専門職業人として自らの資質を高め、自らの企業、組織の充実の為に努力する事も大切であると考えます。

ロータリーを通じての会員同士の「邂逅（かいこう）」を大切に、須坂五岳ロータリークラブの更なる発展の為に共に努力する事を誓い、退任にあたり御挨拶とさせていただきます。

「良き友、我が人生の道標」

■南澤幹事退任のあいさつ

一年間ありがとうございました。小山会長の幹事役を無事務め終えたこと、うれしく思います。昨年小坂ガバナー補佐の担当幹事の時に「自分はこの立場でどういう事をするか」教えて頂きました。振り返りますと、行き過ぎた事、不足した事が多々あったかと反省しております。3月のPETS、4月の地区協議会で研修し、中味の濃い事業をし

ようと四大奉仕委員長にお願いし、手づくりで一生懸命やってみました。心から感謝申し上げます。

大雪の中スケルトンの応援、300名の来場者で満員の日色とも彘さんの講演会、井の中の蛙、東京RCへのメイクアップ、思い出深い事です。小山会長のリードと皆様のご協力に支えられた一年でした。次年度、橋本年度も一生懸命協力させていただきます。本当にありがとうございました。



■中山SAA退任のあいさつ



皆様に背中をむけての話ばかりでした。至らないSAAを小林副SAAはじめ皆様のご支援で無事できました。日色とも彘さんの時の300名の前での進行はさすがに緊張しました。良い思い出ができました。



■例会スケジュール

- | | | | |
|-------|--------|--------|------------------------------------|
| 7月9日 | 12:30～ | 迎賓館 | クラブフォーラム |
| 7月16日 | 12:30～ | 迎賓館 | ゲスト卓話 「ストレスと健康」 須坂市保健師 桑原靖子様 |
| 7月23日 | | 休会 | |
| 7月30日 | 18:30～ | 納涼夜間例会 | 宗石亭 |